



## ゼニス新しく生まれ変わった上海とパリのル・ボン・マルシェ ブティックをオープンし、限定となる2つのアイコンコレクションを発表しました

ゼニスは世界中で新たなデザインコンセプトを展開するため、既存のブティックのリニューアルと新規オープンを行っています。銀座ブティックのリニューアルに続いて、新たにリニューアルオープンした上海とパリのブティックでは、ゼニスの世界観を感じ、さまざまな時計や限定モデルをご覧ください。展開する商品やテーマが異なる各ブティックで、**ゼニスアイコン**のテーマに沿ったヴィンテージウォッチのカプセルコレクションを楽しむことができます。

南京西路にオープンしたばかりの上海の旗艦店は、中国の時計愛好家とゼニスファンの究極のショッピングスポットです。斬新で体験型のブティックコンセプトで、スイス初のマニュファクチュールを形作ってきた多くのストーリーを語るための新たな方法を考え出しました。

ゼニス上海旗艦店のファサードは、外から見ると、1969年以降ゼニスのロゴとして使われていた「Z」の文字が組み合わさり、4つの点を結んだ星が光によって浮かび上がり、好奇心をかき立てます。ロゴを囲む星は、夜空にきらめく星のように光っては消えていきます。ブティックに入ると、温かみのあるニュートラルなトーンに変わり、床から天井までブルーが配され、夜の星空を思わせる照明が光を放ちます。創業時からゼニスの伝承の中心にあるシンボルです。

定番の時計や限定モデルなどの豊富なラインナップが揃っているだけでなく、上海とパリの2つのブティックは「ストーリーバー」を備えており、リラックスしながら、驚きの仕掛けでゼニスの世界観を存分に楽しむことができます。ストーリーバーのエリアのさまざまなオブジェを動かすと、そのオブジェに隠された重要なビデオやゼニスの過去と現在の感動を与えるストーリーが、「ストーリーバー」の壁面のスクリーンに映し出されます。ブランドの4つの核となるコレクションは、それぞれ特別な色とデザインのショーケースで展示されています。また人目を気にすることなくショッピングを楽しみたいお客様には、くつろぎを味わえる暖かい雰囲気VIPルームもご用意しています。

上海旗艦店のブティックは、「ZENITH ICONS - ACT I」と呼ばれる1969年から1972年に発表された最も初期の、そして最も重要なエル・プリメロのスチール製モデルをフィーチャーしたZENITH ICONSのカプセルコレクションを展開する世界で2番目のブティックです。

パリのル・ボン・マルシェ ブティックでは、ZENITH ICONSの中でも新しいタイプのカテゴリーが登場しました。「ZENITH ICONS - GENESIS - Chronomaster Sport」と名付けられたこのカプセルコレクションでは、「クロノマスタースポーツ」のデザインのヒントとなった、最も象徴的な過去のモデルが紹介されています。

### ゼニスアイコン - ACT I 上海ブティックにて

#### A384

1969年に「エル・プリメロ」の顔としてデビューしたA384は、発売時の新聞・雑誌の切り抜きに登場したり、初の「エル・プリメロ」のパンフレットの表紙を飾りました。ゼニスの4芒星ロゴが刻印された“スクエアパレル”ケースと、“パンダ”文字盤が特徴で、トロピカルな雰囲気となったことで更に魅力が高まっています。



### **A385**

キャリバー「エル・プリメロ」とともに発売されたステンレススチール製オリジナルトリオの一つである A385 は、1969 年の広告や写真撮影にゼニスが選んだモデルです。当時としては前例のないシェードのかかった“スモーキーブラウン”のグラデーション文字盤と、ゼニスの 4 芒星ロゴが刻印された“スクエアバレル”のケースで、時代にその名を残しました。

### **A386**

ゼニスの「クロノマスター」シグネチャーラインの原型となる A386 は、「エル・プリメロ」を搭載した初のウォッチとして、よりクラシカルなラウンドケースとストレートラグのバリエーションで 1969 年に発売されました。それまでなかった 3 色のクロノグラフカウンターと 10 進法の日盛りで注目を集めた、キャリバー「エル・プリメロ」の歴史の中で最も重要なモデルの一つであり、クロノグラフのアイコンとなっています。

### **A3818**

マンフレッド・レスラー氏の著書『Zenith: Swiss Watch Manufacture Since 1865』の表紙を飾ったことから、「カバーガール」のニックネームが付いた A3818 は、1971 年にデビューを飾り、縦方向にサテンプラッシュド仕上げを施したオキシダイズドブルーの文字盤と“ピラミッドトラック”と呼ばれる分数日盛りが特徴です。A3818 は、トータルでわずか 1,000 本しか製造されていません。

## **ゼニスアイコン-ジェネシス-クロノマスタースポーツ パリのプティックにて**

### **A277**

エル・プリメロより 1 年前、クロノグラフ A277 は、1968 年から 1970 年にかけて製造され、ドットマーカとバトンマーカ、そしてブラックの回転ベゼルの「逆パンダ」の文字盤を備えています。このマーキングの種類は、クロノマスタースポーツの刻印が施されたブラックセラミック製のベゼルに影響を与えました。

### **A386**

おそらくエル・プリメロ クロノグラフの中でも最もアイコンックな A386 は、1969 年に発売され、トリコロールのクロノグラフカウンターが目を引きま。このデザインはクロノマスタースポーツなどのクロノマスターシリーズに世代を超えて引き継がれています。

### **エル・プリメロ 「デ・ルーカ」**

1988 年から 1996 年の間に生産されたエル・プリメロ 「デ・ルーカ」シリーズは、長年にわたり、さまざまなデザインの文字盤でいくつかのモデルが紹介されました。しかし、シリーズ全体としては、デ・ルーカは常にサテンプラッシュド仕上げを施したサイドリンクとポリッシュ仕上げのセンターリンクのスチール製 3 連リンクのブレスレットがあしらわれています。形も仕上がりもクロノマスタースポーツのメタルブレスレットの前身となっています。